



ほけんだより 9月号



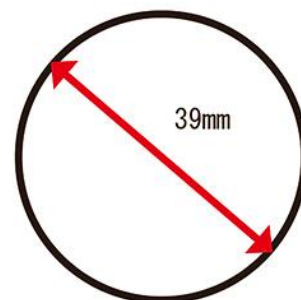
2026年8月31日
認定こども園OURS
保健室

9月9日は「**救急の日**」です。急なけがや病気について改めて考える日です。思わぬけがや事故を防ぐために、大人が安全な環境を整えてあげましょう。

家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、じつは事故の危険の高い場所だということをご存じでしょうか？ **0～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。**

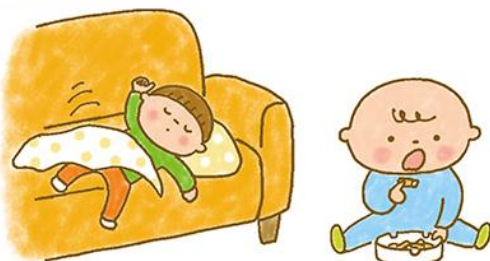
家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが、窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてください。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもの口の大きさは約4cm。これより小さなものは、子どもの手の届かないところに保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものはたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

ベランダ



台などに上って手すりを越える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

これで安心!

ちょっとした けがのケア

元気な子どもは小さなすり傷や切り傷ができやすいもの。化のうさせずに治す方法を知っておきましょう。



ウェットタイプの絆創膏は
使い方をチェック!

モイストタイプ（ハイドロコロイド素材）の絆創膏は、2歳以下の子どもには使えません。使用上の注意を守って使いましょう。

① 手当てする大人がまず手を洗う

手から汚れがうつるのを防ぎます。

② 傷口を流水で洗う

流水で傷口をやさしく洗い、泥や砂などを取り除きます。とげなどが刺さっているときは、毛抜きで抜き取ってから流水で傷を洗いましょう。

③ 傷口を保護する

絆創膏やガーゼなどで傷口を覆います。絆創膏は毎日交換して、傷の治り具合をチェックしましょう。

傷口の汚れやとげなどが取り除けない、傷がなかなか治らないときは、病院へ!

OURSでの傷の処置

擦り傷などの軽い傷に関しては、原則消毒薬を使用せず、水道水(流水)での洗浄を行います。また、OURSでは「ワセリン(皮膚の荒れや保護剤として使用)」「ベビームヒ(虫刺され)」を使用することがあります。それ以外の薬剤は使用しておりません。

園で怪我や皮膚トラブル等に対し処置した傷は、必ずご自宅で確認をお願いします。あくまで簡易的な処置になりますので、絆創膏等は必ず剥がして確認や洗浄・必要があれば処置をお願いします。

食べ物に関するお願い

☆園の敷地内、園内で、お子さんに食べ物を食べさせないでください。食べながら登園しないでください。食物アレルギーのお子さんが、落ちている「かけら」に触れるだけでアレルギー症状が出る場合があります。また、食べ物を食べながら登園することで窒息のリスクもあります。

☆登園前の食事の際も「初めて食べる食材」を摂取してからの登園はしないようにお願いします。成長過程の中で、新しい食材や今まで食べてきた食材でもアレルギーを発症する場合があります。

☆お菓子等がお子さんのバッグや服のポケットに入っていないことを毎朝確認してください。

※職員が気づいた場合はお声がけ、ご連絡をさせていただきますのでご承知おきください。



保健室に新しい仲間 川木さんが増えました。

これから子どもたちの元気と一緒に見守っていきます! 見かけたら気軽に声をかけて下さいね☺よろしくお願いします。